新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画 (案) (高齢者入所施設名)

<mark>法人名</mark>	社会福祉法人〇〇会	<mark>種別</mark>	<u>∞</u>
代表者	00 00	<mark>施設長</mark>	00 00
所在地	00 00	電話番号	00 00

新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画

社会福祉法人OO会 OO施設

第1章 総論

1 目的

本計画は、日本国内で新型インフルエンザ等の大流行が懸念される場合に備え、当施設の実施すべき事前対策、感染防止対応ならびに業務の継続・縮小・休止に関する行動基準・実施事項等を定める。

2 基本方針

当施設の社会的責任を全うするため、本計画に関する基本方針を以下のとおりとする。

①利用者の	利用者は一般人に比べ相対的に体力が弱いことに留意して感染防止に努める。
安全確保	
② サービス	利用者の健康・身体・生命を守る機能をできる限り維持する。
の継続	
③ 職員の安	業務の特性上、職員は一般企業と比べ感染リスクが高いことに留意して感染防止に努める。
全確保	

3 用語の定義

本計画において使用する用語の定義は以下のとおりとする。

	用語	定義
1	新型イン	感染症法(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律)第6条第7項に規
	フルエン	定する新型インフルエンザ等感染症、及び同条第9項に規定する新感染症(全国的かつ急
	ザ等	速に蔓延するおそれがあるものに限る) をいう
2	発生段階	国における「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」で規定されている新型インフルエ
2	光工权伯	ンザ等の流行レベルをいう。(表1)
		事態の進展に合わせた段階がな対応を実現するために、本計画では上記「発生段階」をも
		とに、以下ステージを設定し、ステージ区分ごとに行動方針等を定める。(表 1)
3	対応ステ	・ステージ0:発生段階における「未発生期」
	ージ	・ステージ1:同「海外発生期」~「国内発生早期・地域未発生期」
		・ステージ2:同「国内発生早期・地域発生早期~国内感染期・地域発生早期」
		・ステージ3:同「国内感染期・地域感染期~小康期」
4	感染予防	新型インフルエンザ等の発生時に感染予防・感染拡大防止・感染者対応等の観点から必要
	対応	となる対応事項
⑤	業務継続	新型インフルエンザ等の発生時こおける業務の継続・縮小・休止等の観点から必要となる
	対応	対応事項

⑥ 特定接種	新型インフルエンザ等対策特別措置法第28条に基づき、「医療の提供並びに国民生活及び国民経済の安定の確保」に必要不可欠な事業に従事する者に対して臨時に実施される予防接種のこと。
⑦ 住民接種	ここでは、新型インフルエンザ等対策特別措置法第46 名に基づき実施される予防鋳重のことをいう(参考:予防鋳重者に基づくものもある)。市町村が主体となり、集団的接種を原則として実施されるが、基本的に前記「特定接種」が先に開始される。
8 濃厚接触者	新型インフルエンザ等の患者と長時間居合わせた等により、新型インフルエンザ等への感染が疑われるもの。

(表1)発生段階と対応ステージ

発生段階			7= 3%
段階	状態		ステージ
未発生期	新型インフルエンザが発生していない状態		ステージ0 (→第Ⅱ章)
海外発生期	海外で新型インフルエンザが発生した状態		7 - 334
国内発生早	国内のいずれかの都道府県で新型 インフルエンザの患者が発生して	(地域未発生期) 各都道府県で新型インフルエンザ の患者が発生していない状態	ステージ1 (→第Ⅲ章)
期	いるが、全ての患者の接触を疫 学調査で追える状態	(地域発生早期) 各都道府県で新型インフルエンザ の患者が発生しているが、全ての	ステージ2
	国内のいずれかの都道府県で、新	患者の接触を疫学調査で追える 状態	(→第IV章)
国内感染期	型インフルエンザの患者の接触歴 が疫学調査で追えなくなった状態	(地域感染期) 各都道府県で新型インフルエンザ の患者の接触歴が疫学調査で追え なくなった状態	ステージ3 (一第 V 章)
小康期	新型インフルエンザの患者の発生が減少し、低い水準でとどまっている 状態		

注:地域感染期に至らない段階で、自施設で感染者が発生した場合は、ステージ3に準じた対応を実施する。

4 業務分類

本計画では、当施設の業務を重要度に応じて4段階(A-D)に分類し、事態の進展に合わせて優先度の低い業務から順番に縮小・休止することで、利用者の健康・身体・生命を守る機能のできる限り維持する。(表2)

(表2)業務分類

業	務	内容	当施設における業務	
- 1	Α	通常時と同様に継続すべき業務	食事、排泄、与薬、医療的ケア、保清(清式等)等	
E	В	感染予防・感染拡大防止の観点から新た に発生する業務	利用者家族等への各種情報提供、空間的分離のための部 屋割り変更、施設内の消毒/感染物の処理、来所者の体温 測定、特定接種/集団接動が応等	
(О	規模・頻度を減らすことが可能な業務	入浴、リハビリ 等	
	D	休止・延期できる業務	上記以外の業務	

注: 当施設の組織自体を維持するために、職員への給与支払い、各種物品の調達/整備/修繕、資金繰り、取引先への支払い等、ヒト・モノ・カネに関する業務も上記「業務A」に位置付ける。

5 主管部門

本計画の主管部門は、〇〇とする。

6 対応全体像

本計画で定める対応全体象は<mark>【様式1】</mark>のとおり。 以下(第II章~V章)、ステージごとに対応を整理する。

7 被害想定

本計画が前提とする被害想定は【様式2】のとおり

第Ⅱ章 ステージ〇 (未発生期) の対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等がまた発生していない状況。 したがって、対応は、計画のメンテナンス・周知と、ステージ1以降の緊急時対応を見据えた事前準備が中心となる。

1 対応主体 (誰が)

本ステージにおける対応は、〇〇の統括のもと、関系部門が一丸となって対応する。

2 対応事項(何をするか)

本ステージにおける対応事項お以下のとおり。

項		対応事項	関科試
	毎年以下の観点からメンテナンスを実施 計画のメ □業務分類の妥当性の検証 ンテナン □新型インフルエンザ等に関する最新情報(法改正・被害想定改定等)の反映		様式3
計画(知能)		□新型インフルエンザ等感染症の基礎に識こ関する研修 □本計画の内容や感染予防に関する研修 □本計画の内容に沿った実動・机上訓練 等	様式 4
緊急時対応の事前準備	体制構築	以下に関する検討・見直しを実施 □緊急時の以下役割分担・代行者の検討 ・全体統括 ・情報収集 ・利用者家族等への情報是供 ・感染予防対応に関する業務(業務B)の統括 ・業務継続対応に関する業務(業務A、C、D)の統括 等 □ステージ3(地域感染期)における体制の在り方 ・○○会議室に対策本部を設置 等	様式 3 , 5, 6
	感染予防対応	以下に関する検討・見直しを実施 □利用者家族等との連絡方法の整理 □職員に対して、マスク・手洗い等個人レベルで実施する対策に関する事前教育 □備蓄品管理 □来所者向け検温ルールの整備 □職員・利用者向け検温・体調チェックルールの整備 □いイリスク職員※(好婦、慢生疾患、COPD、免疫が時所服用者等)の把握 ※インフルエンザに罹患すると重篤化する恐れがある者 □病院と感染者受入等に関して事前協議 等	様式6 様式7 様式8 様式9

	以下に関する検討・見直しを実施	
	口人員と対応能力の評価・分析	
業	*業務A・Bを遂行するために最低限必要な人員数の把握	
務	*業務A・Bを遂行するために必要なスキルの把握	
継		<mark>様式10</mark>
続	*職員の家族構成・住所・通動手段等の把握 等	<mark>様式</mark>
	□出勤措施の集約管理・欠勤可能性検証の方法	<mark>10, 11</mark>
対	□委託業者のサービス継続対応につき事前揺議	
応	□備蓄品管理	
	□クロストレーニングの実施	
	□近隣施設等と応援要員派遣に関して事前協議等	

第Ⅲ章 ステージ1 (海外発生期~地域未発生期) の対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等は発生しているものの、施設の周辺地域では感染者が発生しておらず、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化していない状況。

したがって、ここでの対応は、感染状況を中心とした情報収集と、ステージ2(地域発生早期)以降に実施する「感染予防対応」の準備、ならびに、同対応・「業務勝款が応」の実施に関する利用者家族等への事前アナウンスが中心となる。

1 対応主体(誰が)

本ステージにおける対応は、〇〇の統括のもと、以下の役割を担う者が各担当業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統	∞	∞
情 似集	∞	∞
利用者家族等への情報提供	∞	∞
感染予防対応に関する統括(主に準備)	∞	∞

2 対応事項(何をするか)

本ステージにおける対応事項お以下のとおり。

IJ	囯	対応事項	法 孫関
情似集		主に以下に関する付替を収集 「新型インフルエンザ等の感染拡大状況 「国・自治体・保健所等の対応状況 「委託業者・近隣病院・近隣地施設の対応状況	様式 3 様式6 様式6
族等	月者家 等への 競供	利用者家族等との連絡体制を構築 利用者家族等に、ステージ2(地域発生早期)以降実施する以下対応に関して情報を事前伝達。 口施設来所時のルール(詳細は第1V章) 口利用者感染(疑)時の対応(同上) 口提供業務の縮小・休止(詳細は第1V章、第V章) 等 発生段階「国内発生早期」以降よ、適宜以下情報を提供 口利用者の現状 等	<mark>様式6</mark> <mark>様式6</mark>
感染予防対応の実施	個対の頼 組とて応	職員/職員の家族/利用者※/利用者家族/委託業者等に、各々が以下を実施するよう依頼 ※実施可能な者に対してのみ依頼 ロマスクの着用 ロ手洗い・うがい・咳エチケットの励行 ロ極力人ごみを避ける(2m/レールの励行) 等 施設入口とトイレに以下備蓄品を配備し使用を励行 ロアルコール 等	様式 7

	1. 1999-1 July - 1. 1991-1.	14 0 -
	以下対応を実施	様式 7
	口備蓄品のチェック(不足があれば調達)	<mark>様式6</mark>
感染予防	職員/利用者/委託業者等に対して、ステージ2(地域発生早期)以降実施する以	
12:11:0	下対応に関して情報を事前伝達する。	
対策の準 備	口施設来所ルール(詳細は第IV章)	
1)用 	□体温・体調のデイリーチェック(同上)_職員・利用者・委託者等	
	□業務Dの縮小・休止(同上)_職員・利用者のみ	
	□感染(疑)者発生時の対応(同上) 等	
	以下対応を開始する	様式 10
	□出勤情報の集約管理・欠勤可能性検証	
	□同一法人内での情報共有(ステージ3(地域感染期)以降の応援可能が確認)	
业 3在 40m 4年	□過去勤務していたOB・OGへのアプローチ(ステージ3(地域感染期)以降の	
業務継続	調養加熱可能小確認	
対応の準 備	口近隣施設との情報共有(ステージ3(地域感染期)以降の応援可能が確認	
1)用 	口委は業者の事前連携こついて情報共有 等	
	職員/利用者に対して、ステージ3(地域感染期)以降実施する以下対応に関して	
	情報を事前伝達する。	
	□業務A·C·Dの縮小·休止(詳細は第V章) 等	

第IV章 ステージ2 (地域発生早期) の対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等の感染者が施設の周辺地域で発生しており、感染予防に関する本格対応の必要性が顕在化している一方で、職員や家族に感染者が発生しておらず、業務継続が応に関する本格対応の必要性はまた顕在化していない状況。したがって、対応は、感染予防対応の本格実施と、ステージ3(地域感染期)以降に実施する「業務継続が応」に関する準備が中心となる。

1 対応主体(誰が)

本ステージにおける対応は、処理する業務量が膨大になることと、状況が刻々と変わる中での情報共有が重要となることから、以下の役割を担う者を構成メンバーとする対策本部を構成し、〇〇会議室で業務を遂行する。

役割	担当者	代行者
全体統括	00	00
情與集	00	8
利用者家族等への特別提供	00	8
感染予防対応に関する統括	00	8
業務圏売がいて関する統括	00	8

2 対応事項(何をするか)

本ステージにおける対応事項

は以下のとおり。

	項目	対応事項	関係続式
		以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有	
		口新型インフルエンザ等の感染拡大状況	<mark>様式3</mark>
	ι.# ±	□国・自治体等の対応状況	様式 6
情劇集	二共有	口委託業者・近隣病院・近隣世紀の対心状況	<mark>様式6</mark>
		□職員・職員家族・利用者の感染状況	様式 5,11
		口その他利用者家族・委託業者等の感染状況等	様式 6,11
利用者家	族等への情報	適宜以下情報を提供	<mark>様式5</mark>
提供等		□利用者の現状等	
		職員/職員の家族/利用者※/利用者家族/委託業者等に、各々が以下	
		を実施するよう依頼	
感染予	個人対応の	※実施可能な者に対してのみな頼	
防対応	依頼	ロマスクの着用	
の本格		□手洗い・うがい・咳エチケットの励行	
実施		□極力人ごみを避ける (2m/レー/レの航行) 等	
	組織として	以下(表3)の実施	
	対応		
		以下対応を継続実施する	
		□出勤情報の集約管理・欠勤可能性の検討	様式 10, 11
		□同一法人内での情報共有(ステージ3(地域感染期)以降の応	
坐 梁⁄刻松丰	対応の準備	援可能小確認	
未分形的心	ツルレンとギ川用	□過去勤務していた0B・0Gへのアプローチ(ステージ3(地域感	
		染期以降の調整が可能が確認	
		口近隣施設との情報共有(ステージ3(地域感染期)以降の応援	
		可能が確認等	

(表3) 感染予防対応 (組織として対応) の本格実施

	項目		対応事項	操
	備蓄品配備		□必要な備蓄品を配備	様式
短関係者に感染(疑) 計が発生していない時 いら対応 発生後も継続対応)	業務B① 来所に関する ルール	マスク着用	〈対職員・利用者家族・委託業者等〉 □施設内でのマスク着用、咳エチケットを依頼 □入口受付に依頼文を掲示 □入口受付に持参しない方用にマスクを一定数配置	様式の
		施設入口・トイレでのアルコー ル使用	〈対職員・利用者・利用者家族・委託業者等〉 □施設入口・トイレニアルコールを設置 □施設立ち入り前、トイレ使用後の手の消毒を依頼 □入口受付に依頼文を掲示 □利用者の消毒をサポート	様式
		公共交通機関による来所禁止	〈対職員・利用者家族・委託業者等〉 □極力、公共交通機関を使っての来所を制限 □不可能な場合はラッシュ時を避けて来所を依頼	
		不要不急の来所禁止	<対利用者家族・委託業者等> □不要不急の来所を制限(テレビ電話の活用を検討) □業者等の施設内に出入りした者の氏名、来訪日時、連絡先の記録	
		来所者への施設入口での検温実施		様式
		体調不良者の立ち入り禁止	<対職員> □体調不良者の出勤禁止 <利用者家族・委託業者等> □体調不良者の立ち入りを制限 □入口受付に依頼文を掲示	様式
		ハイリスク職員の出勤禁止	<	
		行政措置による受入の対応	□対象者を一時空間的「邛戸離し、 感染の疑しがないことを確認する	
	業務B2 その他レール	検温・体調のデイリ ーチ ェック	〈対職員・職員家族〉 □毎朝出堂前の検温と結果記録を依頼 □検温が○度以上の場合、その他体調がすぐれない場合は、上長への報告を義務化 □上長は、感染が疑われる場合は、「新型コロナウイルス感染症こついての相談・受診の目安」を踏まえて適切に対応 *職員本人が○度以上ある場合、その他体調がすぐれない場合は出勤停止 *職員家族が○度以上ある場合、その他体調がすぐれない場合の職員の出勤可否は適宜判断 〈対利用者〉 □毎朝〇時に検温を実施し、結果を記録 □検温が○度以上の者、その他体調がすぐれない者がいる場合、上長への報告を義務化 □上長は、上記報告に対して以下のとおり対応 *対象者にマスクを装着(装着が可能な場合) *ゾーニングを実施するかは適宜判断	様式
		感染予防策の実施	□「高齢者介護施設における感染対策マニュアル改訂版」等を参照の上、マスクの着用を含む咳エチケットや手洗い、アルコール消毒等を徹底 □感染が疑われる場合は、「新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安」を踏まえて適切に対応	
		リハビリテーション等の実施 の留意点	□3密を避けこフレイル予防のためのリハビリを実施 □可能な限り同じ時間帯・同じ場所での実施人数の縮小 □定期的な換気 □ソーシャルディスタンスの確保 □共有物の消毒、手指衛生の励行の徹底	様式
		実習生等の受け入れ休止	口実習生・ボランティアの受け入れを休止	
	業務Dの	不要不急の行事休止	□不要不急の行事を休止	
ļ	縮小・休止	不要不急の外出・会議の休止	□職員・利用者の不要不急の外出を休止 □外部(近隣施設・委託業者等)との不要不急の会議を休止	
	業務A・C・Dの	業務体制の縮い	口最知の人数で業務を遂行するようシフトを検討	124 1
慰男孫者に感染(疑) おが発生した場合の緊	施設内で発症	情報以集·報告	□施設内で感染(疑)者を発見時の上長への報告を義務化し、施設内で「静映有 □状況□応じて、自治体・保健所等□報告 □家族□報告	様式
対応		発症者にマスクを装着させる	□N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、感染(疑)者にマスクを装着※ ※対象が利用者の場合は職員が見守る中での一時がな装着にならざるをえない。	様式
		空間が隔離を実施施設からの退出を依頼	□N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、状況に応じて、空間が隔離も実施 <職員・利用者家族・委託業者等が発症> □家族・所属企業に連絡し迎えにきてもらったうえで、施設からの退出を依頼 <利用者が発症>	様式

(開発・車送		8		
開発		病院二般送		<mark>様式</mark> 7
(中国・		消毒	□N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、感染(疑)者が発触した居室及び利用した 共用スペースを中心に清掃・消毒を実施 □保健所の指示がある場合は指示に従う	様式 7
			<利用者・職員・利用者家族等が発症> □発症者等 □感染しているか否かの診断結果を確認	様式5,6
・ 整理の実施をつかが対			○感染者: POR 陽性者 ・利用者等に発生した場合、保健所の指示に従い、濃厚欝蛙の特定に協力	様式 5, 6
- 機能性の原金 - 現場中の観し、		積極的疫学調査への協力等	・ 嘱託をか総合的に判断した結果、 感染を疑う者 ・ 利用者等に発生した場合、 当該施設等において、 感染が疑われる者との 濃雪 勢め 疑われ	
・原始の設計れる者」と同意・長期指制・ ・原外の設計をしている。 と称を、知恵・所養・ 原本のおいました。 原金の公式機能し、原金が会計を表し、表面の成金が必要・ 国籍・ 原理時間である。 (国際・ ののはから、場合は、自然神秘を行い、保証所の指すに従う。 (国際・ ののはから、場合は、自然神秘を行い、保証所の指すに従う。 (国際・ ののはから、場合は、自然から、場合は、自然から、場合をの必要的を助かった。 (国際・ ののはから、場合は、自然から、場合は、自然から、場合をの必要的を助かった。 (国際を出い場合は、 では、 保証所と 作るのは、 ながら、 国界時間を (国際を出い場合は、 では、 保証所と 作るのは、 ながら、 国界時間を (国際を出い場合は (国家・ では、 国の物なと (国家・ という、 国家・ は、 国の教はと (国家・ という、 国家・ は、 国家・			・感染者と同室・長時間強強 ・適切が満無Uに感染者を診察、看護、介護	
□ 四部諸島神科の1、20~11、発発等の症状の有無等も踏まえ、保健所の作用に従う 「職婦島神科の1、20~11、発発等の症状の有無等も踏まえ、保健所の作用に従う 「職婦房神研別については、発発等の症状の有無等も踏まえ、保健所の指示に従う 「開酵の肝神明については、発発等の症状の有無等も踏まえ、保健所の指示に従う 「開酵の肝神明については、発発等の症状の有無等も踏まえ、保健所の指示に従う 「無難の肝神明については、発生が成れ、環境があり、成性のない、環中発情を可能に 「間膜してして固定 活動、側面が見いない 場合は、保証の対象 環中発情を否定 1 「同間してして関連を含まってを者目の、手間管を全し上ありる等の対応 「問題として限度 活動、側面が見いない 場合は、保証の対象 (本社の 3 同時教育を可能に 1 回間を2 回り上ありる等の対応 「同理を通り、その作用用きと担当場合を分けて対応 「つかに 現り、その作用用きと担当場合を分けて対応 「つかに 現り、その作用用きと担当場合を分けて対応 「つかに 現り、その作用用きと担当場合を分けて対応 「かりて当たっては、範囲の対象 (本社のようを) 地域とよる手能対害を実施 「「カッケ 7 年券 い 等心医本 1 日 たん (本社のよう 1 年) 年			・「感染が疑われる者」と同室・長時間強触 ・適切が抗護無して「感染が疑われる者」を診察、看護、介護	
日発院等の定状がある場合は、自宅特権を行い、保護所の指示に従う。 日教授のが提出でいては、発統等の定状の指標やも認定は、保健所と指数した。 初月			口自宅待機を行い、保健所の指示に従う	様式5,6
			□発熱等の症状がある場合は、自宅待機を行い、保健所の指示に従う。 □職場復帰時期については、発熱等の症状の有無等も踏まえ、保健所の指示に従う	
一グル等を着用			□原則として個室に移動。個室が足りない場合は、症状のない濃厚対射者を同室に □個室管理ができない場合、マスク着用、ベット間隔を 2m 以上あける等の対応 □部屋を出る場合はマスクを着用し、手指衛生を徹底 □可能な限り、その他利用者と担当職員を分けて対応 □ケアに当たっては、部屋の換気を十分に実施	
情報別示 口感染していることが確定した場合、状況に応じて、その情報を関係者に伝達 口状況に応じて、施設入口に情報を掲示 (本式5.6 日報別示 日報別述 日報知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知知			一グル等を着用 □体温計等の器具は、可能な限り専用に □ケアの開始時と終了時に、石けんと流水による手洗い等による手指消毒を実施 「1ケア1手洗い」等が基本 □有症状者は、リハビリテーション等は実施しない □無症状者は、手指消毒を徹底した上で、職員は使い捨て手袋とマスクを着用し個室等において、実施も可能	
たまでは、		情景示	□感染していることが確定した場合、状況に応じて、その情報を関係者に伝達	
図染者の来所禁止 □感染者に〇週間の来所を禁止 「中能な限り、発定前〇週間の行動(施設内のどこに行って、何を触った)を確認 洋素 □N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、上記 静服をもとに消毒を実施 様式7 □可能な限り、感染者等に発症前〇週間の行動(誰に会って、何をしたか)を確認 様式5,6 □上記 静から濃 野動者を確定 □該当者に〇週間の来所を禁止 様式5,6 様式5,6 □ 世別記述 日本記述 様式5,6 世別記述 日本記述 様式5,6 日本記述	施設がで発症	情似集	□本人・家族が感染した場合の上長への報告を義務化 <対利用者家族・委託業者等>	<mark>様式</mark> 9
応染者の来所禁止 口感染者に〇週間の来所を禁止 「日前お取り、発症前〇週間の行動(施設内のどこに行って、何を触った)を確認 消毒 口N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、上記 神秘をもとに消毒を実施 様式7 日前お取り、感染者等に発症前〇週間の行動(誰に会って、何をしたか)を確認 株式5,6 日上記		報告	□状況□応じて、自治体・保健所等□報告	
消毒 □N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、上記情報をもとに消毒を実施 様式7 □可能が限り、感染者等に発症前〇週間の行動(誰に会って、何をしたか)を確認 様式5,6 □上記情報から濃昇蒴歯者を確定 □該当者に〇週間の来所を禁止 様式5,6 □状況に応じて、感染者発生情報を関係者に伝達 様式5,6			□感染者に○週間の来所を禁止	様式5,6
濃昇競者の来所禁止 口上記情めら濃昇競者を確定 様式5.6 一該当者に〇週間の来所を禁止 様式5.6 「き根表」 口状況に応じて、感染者発生情報を関係者に伝達 様式5.6		消毒	□N95 マスク・ゴーグル・手袋を装着した者が、上記情報をもとに消毒を実施	
		濃乳子が大きない。	口上記書から濃昇強性を確定	
		情 開示		様式 5,6

第V章 ステージ3 (地域感染期~小康期) の対応

本ステージにおいては、新型インフルエンザ等の感染者が施設内でも発生しており、感染拡大防止に関する本格対応 のみならず、業務継続に関する本格対応の必要性が顕在化している状況。

したがって、対応は、ステージ2(地域発生早期)から本格実施している感染予防対応の継続実施と、業務継続対応の本格実施が中心となる。

なお、小康期においては、各対応を事態の進揚に応じて段階的に縮小していく。(以下、小康期固有の記載はしない)

1 対応主体(誰が)

本ステージにおける対応は、前ステージ同様、対策本部にて実施する。

2 対応事項(何をするか)

本ステージにおける対応事項お以下のとおり。

	項目	対応事項	関係就
情報収集と共有		以下に関する情報を継続して収集のうえ施設内で共有 「新型インフルエンザ等の感染拡大状況 「国・自治体等の対応状況 「委託業者・近隣病院・近隣他施設の対応状況 「職員・職員家族・利用者の感染状況 「その他利用者家族・委託業者等の感染状況	模式3 模式6 模式6 模式5,11 模式6,11
利用者家	族等への情報提供	第 適宜以下情報を提供	様式 6
感染予 防対応 個人対応の依頼 の本格 実施		職員/職員の家族/利用者※/利用者家族/委託業者等に、各々が以下を実施するよう依頼 ※実施可能な者に対してのみ依頼 ロマスクの着用 口手洗い・うがい・咳エチケットの励行 口極力人ごみを避ける(2mルールの励行) 等	
	組織として対応	第IV章 (表3) の繼続実施	
業務継続	対応の本格実施	以下(表4)の実施	

(表4) 業務継続が応の本格事施

(衣4) 未修	 		
	項目	対応事項	関級裁式
	業務Dの縮小・休止	口業務Dの縮小・休止を検討・実施	
業務の絞		上記対応後、以下の順づ検討・実施	
り込み	※ 交○ へ続い 仕.L	□入浴・リハビリの規模・頻度の縮小を検討・実施	
9227	業務の縮小・休止	□入浴の休止(清拭に切替)を検討・実施	
		□リハビリの休止を検討・実施	
		業務Dの縮小・休止後、以下を検討・実施する	<mark>様式7</mark>
業務手順		□食事をレトルト食品に変更	
の変更	業務Aの業務手順の	□食器を使い捨て可能なものに変更	
(省力化	変更	口食事を外部からの配置に変更	
等)		□緊急避難として排泄介助にオムツを使用	
		□外部への支払に関して期限延長を依頼 等	
	出勤情報の集約管	口職員の現在の出勤状況と今後の欠勤可能性を検証	<mark>様式 10, 11</mark>
	理・欠勤可能性の検	口上記「業務の絞り込み」「業務内容の変更」の検討と合わせ、	
	討・シフト変更	業務遂行のためのシフト変更実施	
	同一法人内別組織	口上記シフト変更の結果、人手不足が発生することが見込まれ	様式 6
	への応援要請	る段階で、同一法人内別施設等に応援を要請	
ヒトのや		口上記シフト変更の結果、今後人手不足が発生することが見込	様式 6
りくり	OB • OG 活用	まれる段階で、OB・OG※に出勤を依頼 ※感染者である可	
		能性があることに留意	
		□上記シフト変更の結果、今後、人手不足が発生することが見	様式 6
	地域心援要請	込まれる段階で、連携する施設等※二応援を要請※感染者で	132 4 2
		ある可能性があることに留意	
		□委託業者の稼働情報を適宜入手	様式 6
	委託業者の確保	□上記情報を、上記「業務の絞り込み」「業務内容の変更」の判	
		断料とする	
	備蓄品の確保	□業務内容変更によって使用する備品を配備	様式 7
	NUMMHASATAK	前提として、以下を実施する。	13007
		口単が独計管理をしっかりとやる	
その他		□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
Coyle		がでないように努める	
	過重労働・メンタル	長時間労働を余儀なくされる状況が一定期間続く場合、状況に応	
	対応	じて、以下のように対応	
		□週こ1日は完全休日をもうけるようシフトを組む	
		□ひと月あたりの残業が80時間を超える者に対して、医師によ	
		る面談・健康状態等へ助言を実施 等	
		る国家・選択人の中、もの一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一	

以上

〈更新履歴〉

更新日	更新内容
〇年〇月〇日	作成

<添付様式>

NO	様式	備考
1	新型インフルエンザ等対応全体像	
2	新型インフルエンザ等被害想定	
3	新型インフルエンザ等に関する情報入手先	
4	新型インフルエンザ等に関する研修素材	
5	施設内職員連絡網	
6	施設や連絡先リスト	
7	備蓄品リスト	
8	来所者立ち入り時体温チェックリスト	
9	職員・利用者体温・体調チェックリスト	
10	職員属性管理リスト	
11	感染者管理リスト	

様式1 新型インフルエンザ等対応全体像

	利空インフルエ。		77 77 2 17 123	ステージ=	→ ステージ0	ステージ1		ステージ2	ステージ3		
	刘心项	囯		発生段階-	→ 未発生期	海外発生期		国内発生早期	国内感染期	小康期	
				プログル サンドス・ロー・			地域未発生期	地或発生早期	地或感染期		
						· 計画メンテナンス	· 情似集		・感染予防対応の本格実施	・感染予防対応の継続	• 段階的縮小
主な対応	下事 項				・計画の問知	・感染予防対応の準備	\ 	業務継続が応の準備	・業務継続が応の本格実施		
					• 各種対応の事前準備 → 第287 - トスタがチ	· 感染予防対応/業務継続対応の	浄削アナワン人	<u> </u>			
á	組織				・主管部門による統括	・各担当者による役割遂行		・対策本部を組成した組織一丸対応			
		全体	<u> </u>		・ 緊急時体制の在り方検討 ・ 役割分担・代行者の検討	· 実施					
新	-	<u>非性</u>				· 実施					
制	と と と と と と と と と と と と と と と と と と と		る。 者家族等への情報	и ш	 ・連絡方法等の整備	——————————————————————————————————————	• 実施				
	בונעיםאו			:バ 務 (業務B) <i>の</i> 統括	(五)(1)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(五)(4)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)	 		 ・実施			
	-			務(業務A、C、D)の統括					 ・実施		
			対応の依頼	マスク・手洗い等の対策実施を依頼	事前教育	· 実施			74.5		
			備蓄品(感染予防		• 備 蓄 管理	・配備(また、不足分を見越し	て調達)				
		ŀ		来所時のマスク使用		・職員/利用者/利用者家族/委託		· 実施 · 受付掲示 · 予備用意			
				入口/トイレでのアルコール使用		・職員/利用者/利用者家族/委託		· 実施· 受付掲示			
				公共交通機関による来所禁止		・職員/利用者家族/委託業者等	に事前案内	· 実施			
			業務B①	不要不急の来所禁止		・利用者家族/委託業者等に事業		· 実施			
			来所に関するル	来所者への施設入口での検温実施	・管理ルールの整備	・利用者家族/委託業者等に事業		• 実施 • 受付掲示			
<u> </u>	施毀稱者に感染(疑)者	4 0	ール	体調不良者の立ち入り禁止				• 実施 • 受付掲示			
7	が発生していない時から対	羅		ハイリスク職員の出勤禁止	該当者の把握	・該当職員に事前通知		• 実施			
	応※	限として		行政措置による受入への対応	 健康状態確認 						
				面会制限		・職員/利用者家族/委託業者等	に事前案内	· 実施 · 受付掲示			
;	※発生後も継続して対応		業務B② その他ルール	検温・体調のデイリーチェック	管理ルールの整備	・職員/利用者に事前通知		·実施			
⊫t		-		実習生・ボランティアの受け入れ休止		・職員/利用者に事前案内		· 実施			
感染予防対応			業務Dの縮小・休	不要不急の行事休止		・職員/利用者に事前案内		• 実施			
~			TE	不要不急の外出・会議の休止		・職員/利用者/委託事業者等に	 事前案内	· 実施			
岁				3密を避ける		・職員/利用者/委託事業者等に		· 実施			
心		•	業務A・C・Dの業務 体制縮小	最低限の人数で業務を遂行するようシ フト検討	・人員と対応能力等の分析	・職員に事前通知		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・			
				情報集·報告		・職員/利用者家族/委託業者等	に事前案内	・実施(施設内で発症者が出た場合)			
				発症者にマスクを装着させる		・職員/利用者家族/委託業者等	に事前案内	・実施(施設内で発症者が出た場合)			
				ゾーニングを実施	・ゾ―ニングの検討	・職員/利用者家族に事前案内		・実施 (施設内で発症者が出た場合)			
		4 0	施設内で発症	施設からの退出を依頼		• 職員/利用者家族/委託業者等	に事前案内	・実施 (施設内で発症者が出た場合)			
		組織	加品対グで光圧	病院二般送	・病院との事前連携	・職員/利用者/利用者家族/委認	(業者等に事前案内	・実施(施設内で発症者が出た場合)			
ļ <i>f</i> .	施毀滅者に感染(疑)者	4		消毒·換気		職員に事前通知		・実施			
7	が発生した場合の緊急対応	そ		濃身強性の来所禁止		• 職員/利用者家族/委託業者等		・実施(施設内で発症者が出た場合)			
		尅		情開示				・実施(施設内で発症者が出た場合)			
	ľ	,,U,		情報集・報告		・職員/利用者家族/委託業者等		・実施(施設外で発症者が出た場合)			
			施設外で発症	感染者の来所禁止 		・職員/利用者/利用者家族/委託					
				濃昇強堵の来所禁止		・職員/利用者/利用者家族/委託					
		₩ 2/2	·D の参加 /士・L	情 景	光マケノ米五の声が中	・職員/利用者/利用者家族に事		・実施(施設外で発症者が出た場合)			
1	= 12/1/2/3 .1= 1 4 4 1		Dの縮小・休止 Cの縮小・休止		・業務分類の整理 ・業務分類の整理	• 職員/利用者/利用者家族に事	·		・実施 ・実施		
<u> </u>	+					・職員/利用者/利用者家族に事					
=	業務手順の変更(省力化等)	未防	Aの業務手順変更		・業務手順変更の検討	・関係者(職員・利用者・家族	守川に手削進船		・実施		
業務継続対応				勤可能性の検証・シフト変更	・人員と対応能力等の分析・クロストレーニング	· 情 態 約開始			· 実施		
44	ヒトのやりくり		内での人繰りの検討	<u> </u>		00/00 0 0					
努			OG 活用			・0B/0G~のアプロ ーチ			· 実施		
応			応援要請		・近隣に受きの事が連携	・近隣に登るの情報は有			· 実施		
	その他 -		業者の確保		· 委託者との事前連携	· 委託者との情報共有			· 実施 		
			品(業務継続用)の		・備蓄管理、供給ルート確認・病院との事前連携			· 在庫管理	・配備 - 実施		
			過重労働・メンタル対応		が列力にマノナイリル主義				一大儿		

様式2 新型インフルエンザ等被害想定

<死傷者数、流行排間、ピーク時欠勤率等>

政	感染 (罹患) 者数	3, 200 万人	(感染率・・人口の25%)
府	医療機関受診者数	2,500万人	
想	入院者数	200万人	(感染者入院率·6 . 25%)
定	死亡者数	64 万人	(感染者死亡率·2%)
	流河間	2ヵ月	(1回の流行の波に対し)
	感染ピーク時欠勤率	40%	

政府想定の参考文献お以下の通り

- ・「新型インフルエンザ対策政府行動信画(平成25年6月)」
- ・「新型インフルエンザ等対策ガイドライン(平成25年6月)」新型インフルエンザ等及び鳥インフルエンザ等に関する関係省庁対策会議
- ・「新型インフルエンザ発生時の社会経済状況の想定(一つの例)」(平成21年2月)

<発生段階ごとの被害想定概要>

		海外発生期	国内発生早期	国内感染期	小康期
感染速度		0~2週間	2~4週間	4~12週間	12 週間後~
感染状	況	某国で感染発生	国内で感染者第一号 が発生	感染者がピーク	感染者は減少し、一部 地域で感染が継続
社員の 出勤状		(平常通り)	一部で欠勤 (家族の感染など)	欠勤率40% 社内感染発生	徐々に出勤回復
	電気 水道 ガス	(平常通り)	(平常通り)	一部で支障 (人員不足で障害 対応の遅延など)	(平常通り)
社	鉄道バス	(平常通り)	発生地域を中心に一 部支障	運行減少 (鉄道等で間引き運 行を実施)	徐々に回復
会インフラ	航空旅客	発生国からの 帰国増加。 国内空港で水際 対策開始	(平常通り)	(平常通り)	(平常通り)
	銀行 証券			取扱業務の一部縮小 窓口業務の一部中断	徐々江回復
	外部 関係 先	(平常通り)	一部で委託業務の遅 延・縮小	委任業務の遅延、 中断	徐付江回復

様式3 新型コロナウイルス感染症に関する情報入手先

<新型インフルエンザ等に関する主な情報入手先リスト(2020年9月現在)>

厚生労働省 新型コロナウイルス感染症	http://www.cas.go.jp/jp/influenza/index.html
について	【厚生労働省HP > 新型コロナウイルス感染症特設ページ】
国立感染症研究所感染症疫学センター	http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html
	【国立感染症研究所IP〉新型コロナウイルス感染症野連情報について】
日本医師会 新型コロナウイルス感染症	https://www.med.or.jp/index.html
奈良県・新型コロナウイルス感染症対策	http://www.pref.nara.jp/

様式4 新型コロナウイルス感染症に関する資料

研修教材(2020年9月現在)

(1) 新型インフルエンザの基礎に職(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/pdf/090217keikaku-08.pdf

【厚生労働省 IP 〉政策について 〉分野別の政策一覧 〉健康・医療 〉健康 〉感染定計報 〉新型インフルエンザ (A/HINI) 対策関連計報 〉「新型インフルエンザ対策ガイドライン」について 〉事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン)「事業者・職場における新型インフルエンザ対策ガイドライン」の第2章】

(2) 新型インフルエンザ等対策について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2 1

【厚生労働省HP〉政策について〉分野別の政策一覧〉健康・医療〉健康〉感染定計報〉新型コロナウイルス感染症について〉健康や医療相談の情報】

(3) 高齢者介護施設における感染対策マニュアル(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/ninchi/index_00003.html 【厚生労働省HP 〉政策こついて 〉分野別の政策一覧 〉福祉・介護 〉介護・高齢者福祉 〉 「高齢者介護施設こおける感染対策マニュアル(2019 年 3 月)」の公表について

(4)介護施設等における新型コロナ感染対策(全国老人福祉施設協議会)

https://www.roushikyo.or.jp/?p=we-page-single-entry&type=contents&spot=325685

【全国老人福山施設協議会 HP > 緊急情報 新型コロナウイルス感染症 こ関する 情報

(5) 新型コロナウイルス感染症への対応について(東京都高齢者福祉施設協議会)

https://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/news/2020-0414-1608-14.html

【東京都高齢者福止施設協議会 HP>新型コロナウイルス感染症に関する高齢協の取組み>その他の取組み>感染症発生時の対応フロー及びチェックリスト】

様式5 施設内職員連絡網

<理事長・施設長>

役職	昭	自宅電話号	携帯電話号	電子メール			
理事長	$\infty \infty$	******	*************************************	жин@ик , жижк. ј			
				p			
施設長	$\infty \infty$	**********	**********	**************************************			
				p			

<00 (事務担当) >

役職	略	自宅電話番号	携帯電話番号	電子メール
∞	$\infty \infty$	********	*******	**************************************
				p
∞	$\infty \infty$	*********	**********	**************************************
				р

<00 (現場理) >

役職	赿	自宅電話番号	携帯電話番号	電子メール
∞	$\infty \infty$	**************************************	**************************************	**************************************
				р
∞	$\infty \infty$	***************	Holok-Holok-Holok	**************************************
				p

様式6 施設外連絡先リスト

<行政>

名称	担当者	電番号	メール	住所	備考
∞	$\infty \infty$	**-***	*******. jp	00000	

〈医療機関〉

1, 100 100 40 10					
名称	担当者	電番号	メール	住所	備考
∞	$\infty \infty$	**-****	жжен, жиж. jp	00000	
					•

<委託業者·取引先等>

名称	挡者	電番号	メール	住所	備考
∞	$\infty \infty$	**-***	******.jp	00000	清瑟託
					食材購入

<同一法人他施設・その他近隣施設>

名称	担当者	電番号	メール	住所	備考
∞	$\infty \infty$	**-***	жжж. jp	00000	

<利用者家族>

利用者名	家族(続柄)	電番号	メール	住所	備考
∞	$\infty \infty$	**-***	*******. jp	00000	
			_		
			_		

様式7 備蓄品 (感染予防対策用品、業務継続用品) リスト

注: 最低限、3日分をめどに備蓄すること

<感染予防対策用品リスト>

	J= 6-1 ===		
数量	保管場所	消費期限	備考
			(配布記録等)
	数量	数量保管場所	数量 保管場所 消費期限

(注:施設・事業所の状況に応じて、リスト内の品目を追記・削除してください。)

<業務継続用品リスト>

	数量	保管場所	消費期限	備考
&/**/				(配布記録等)
飲料				
レトルト食品				
インスタント食品				
インスタント良品 経管栄養食				
柱目木食良 ベビーフード				
高血王対応食 糖尿病対応食				
アレルギー対応食				
高カロリー食				
栄養ドリンク				
アトピー性皮膚炎用粉ミルク				
調料				
毛抜き				
消毒薬				
脱齢				
滅菌ガーゼ				
網膚				
綿棒				
オブラート				
包帯				
眼带				
三角巾				
女性用下着				
生理用品				
オムツ				
トイレットペーパー				
消毒薬				
間禁				
鎮涌				
目薬				
	1	T W.BAL - (18)		

(注:施設・事業所の状況に応じて、リスト内の品目を追記・削除してください。)

様式8 来所者立ち入り時体温チェックリスト

注:備え付けの非関型体温計で検温願います。体温が●度を超える場合は立ち入りをご遠慮いたたいておりますので予めご了承願います。

用日	立5入0	退出時間	企業名 (利用者で家族の場合は 記載不要)	路	説記先 (立ち入り者名/担当者名など)	訳記先属性 (いずれかこ○)	検 います。 (体を記載)	備考
10/10	10:10	11:11		00 00	○ ○課 ○○	利用者/職員	36.5度	←記載列
/	:	:				利用者/職員		
/	:					利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		
/	:	:				利用者/職員		

様式9 職員・利用者体温・体調チェックリスト

チェック単位=対象組織 (いずれかにO) : 職員ならびに家族 ・ 利用者

チェック対象者の氏名: (1) 、2 、3 、4 、5 、6 、7 、8 、9 、10)

チェック項目	(FV) 10/10	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
1体温 (●度以下 ⇒O)	0																
2鼻水	0																
3ਦੇ	0																
4くしゃみ	X																
5全体卷息感	0																
6下痢	0																
7嘔吐	X																
8咽痛	0																
9間鏑	0																
10 その他																	
問題ある項目(該当者氏名)	4 (**① 7 (+(2)																
チェック者サイン	**																

注: 上記チェック項目ごと対象者全員が問題なければO印、一人でも定状があれば×印をつけ該当者を特定

様式10 職員属性管理リスト

1 徒歩30分以内で施設まで来られる職員のリスト

所属	役職	赿	家族構成	住所・出勤経路	連絡先
<u></u>	∞	0000	妻 子 (12, 15才)	〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇 自宅〜当施設 徒歩10分、自家用車 3分	00-0000-000

2 徒歩30分~1時間で施設まで来られる職員のリスト

所属	役職	瑶	家族構成	住所・出勤経路	連絡先
∞	8	0000	妻子 (15才) 要介護者1名	〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇 自宅〜当施設 徒歩の分、自家用車 15分 電車利用20分、最寄 駅〇〇駅	00-0000-000
			• • • •		• • • •

3 施設に来るまで徒歩で1時間以上かかる職員のリスト

所属	役職	瑶	家族構成	住所・出勤経路	連絡先
∞	8	0000	妻子 (5才)	〇〇県〇〇市〇〇町 〇〇 自宅〜当施設 徒歩4時間、自家用車 なし 電車利用45分、最寄 駅〇〇駅	00-0000-000

様式11 感染者管理リスト

<職員∕利用者>

報告日	属性 (いずれか (こO)	職員→所属 利用者→部 屋番号	瑶	感染者区 分	発症日	出勤 可能日 (見込)	発症日から〇週間前まで の間の行動 (感染者が会った職員 名・触った施設箇所等)	管理完了
10/10	職員/	OO課	000	本人/	10/5	10/20	△△と夕食を食べた∕	
	利用者		0	同居家族			〇号室で嘔吐した	
/	職員 /			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
/	職員 /			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
/	職員/			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
/	職員/			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
/	職員/			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
	職員/			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				
/	職員/			本人/	/	/		
	利用者			同居家族				

<その他>

報告日	企業・組織名	昡	発症日	発前 直近の 施覧問 日	発症日から〇週間前までの間の行動 (感染者が会った職員名・触った施設箇所等)	管理完了			
10/10	OO食品	00	10/5	10/9	OO課OOと面談した	済			
/			/	/					
/			/	/					
/			/	/					
/			/	/					
/			/	/					